



◎校長からのメッセージ

『弱者は敗者に非ず 弱者は勝者になり得る

—元楽天イーグルス監督野村克也氏のことば—

宮城県志津川高等学校 校長 山内 松吾



女子バレーボール部が、昨年12月23日に行われた高体連本吉支部新人大会で優勝しました。新人大会では、すでに陸上競技部が県大会で棒高跳男女優勝、フィールドの部4位という輝かしい成績を残しており、運動部の活躍が光る志津川高校です。

震災後は人口の減少率が全国ワースト3となった南三陸。志津川高校は全国有数の小規模校、言ってみれば、被災地の弱者ですが、決して敗者ではありません。**文武いずれも、いつか必ず勝者となるために、生徒、教職員が一丸となって今年もがんばります。**

南三陸町ラムサール条約シンポジウム

～志津川高校科学部「ラムサール条約湿地、そして未来へ」～
～さかなクン「ギョギョッとびっくり南三陸のおさかな教室」～

1月20日（土）本町ベイサイドアリーナにおいて、**南三陸町ラムサール条約シンポジウム**が開催されました。

文化交流ホールでは、第一部として、**ラムサール条約事務局長の中村玲子氏、南三陸町副町長の最知明広氏、おおさき生きものクラブ**そして**本校自然科学部**が講演・発表を行いました。

【自然科学部の発表】

自然科学部は、南三陸町の**干潟**について**研究した成果を発表**しました。干潟の中で、今、絶滅が危惧される生物について説明を行いました。

そして、第二部では、**東京海洋大学名誉博士・客員准教授のさかなクン**の講演会が催されました。さかなクンはテレビ等でもおなじみですが、その軽妙な語り口と明るい人柄に会場は魅了され、大いに盛り上がりました。**ギョギョッ！**

【海洋生物に博識なさかなクン】





先輩の背中に教えられ…

1, 2 学年学習合宿実施

1月5日（金）、6日（土）志津川自然の家において、**1, 2 学年の希望者23人（1年生15人、2年生8人）による学習合宿**が行われました。長時間の学習を通して、**集中力と実践力を養うこと、進路達成に向けての意識を高揚させること**が目的です。

5教科の集中講義と自学自習を消化し、有意義な2日間を終了しました。友人同士であっても、**和して同ぜず**、互いに良い距離を保ちながら机に向かいました。

後輩たちは、冬休み返上で頑張っている**3年生の背中を見ながら頑張っています**。



【社会の講義の様子 / 2年生】

大学入試最前線！センター試験終わる



【教頭先生から励ましの言葉を頂く】

センター試験に先立って、1月11日（木）3年4組教室にて、**センター試験激励会**が行われました。教頭先生からは、ご自身の体験を交えながら励ましのお言葉を頂戴しました。

受験本番を控える**3年生は冬休みを返上し、昼夜を問わず机に向かってきました**。下学上達の言葉のとおり、コツコツと小さな努力を積み重ねてきました。努力のあとにはきっと凱風が吹くことでしょう。

1月13日（土）、14日（日）の両日にわたり、全国各地で**大学入試センター試験**が実施されました。本校からは例年より多い**17名の生徒**が試験に臨みました。会場となった気仙沼高校には真剣なまなごしの受験生が集まり、冴寒の三陸海岸が熱く感じる2日間でした。これからは私立大学や個別試験に向けて**もうひと踏ん張りです**。



【代表生徒の決意表明】



福島県立新地高校生徒会来校

～東日本大震災の教訓を後世へ～



【新地高校・志津川高校両生徒会】

1月9日（火）福島県新地町から新地高校生徒会の皆さん15名をお迎えしました。新地高校では、宮城、岩手両県の高校と連携し、命の大切さや防災の重要性を発信することで、東日本大震災の教訓を後世に伝える活動を始めたそうです。交流会では「震災を風化させないために高校生ができること」をテーマに据え、活発なディスカッションが行われました。交流を通して互いに防災意識が高まったことは述べるまでもありません。

～震災資料室を見学して（新地高校生の感想／一部抜粋）～

- ・皆さんの様々な思いがいろんな形で伝わってきました。これからも頑張ってください！
- ・生徒が自分たちの力で復興をしていることがすごいと思いました。
- ・バスの再生や多くの方々との交流など、本当に努力しているということがわかりました。こちらでも資料室を作りたいと思いました。志津川高校生徒会の皆さん、ありがとうございました。

祝！高体連本吉支部新人大会優勝！！

志津川高校女子バレーボール部



【優勝カップを手にして】

過ぐる12月23日（土）本吉支部新人大会において、本校女子バレーボール部が優勝の栄に浴しました。今回の優勝は、日頃から倦まず弛まず努力を続けてきた、その賜と言えるでしょう。

ここに至る道のりは決して平坦ではありませんでした。怪我のために十分な練習もできない状況にある部員もいました。それでも、「優勝」の二文字を掲げ、チームが一丸となって互いにサポートしながらボールを追い続けてきた先に、今回の結果があったのではないのでしょうか。

女子バレーボール部はこれからも「次の一勝」を旨として奮闘を続けます。



先輩の進路に学ぶ

— 2 学年進路別学習会 —

1月17日(水)総合的な学習の時間を利用して、それぞれ進路希望別に分かれて学習会が行われました。今回の学習会は「**先輩の進路に学ぶ**」と題し、進路が決定した3年生を招いて座談会の形式で進められました。

3年生の先輩方は、①**試験までの流れ**、②**今から準備しておくべきこと**、③**大変だったこと**、④**反省点**、⑤**その他の点で進路実現のために努力したこと**などを話してくれました。身近な先輩方の貴重な体験談を通して、これからどのように学校生活を送るべきか、2年生にとって大きなヒントとなりました。



【就職試験の準備で必要なことは】



【なぜ専門学校に行くのか】



【大学受験を制するには】



【公務員受験で考えておくこと】

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ 「先輩の進路に学ぶ／感想（一部抜粋）」 ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

△（2年1組／男子）

学校の授業内容が大切であり、一日一日が大事だと感じました。進路達成に向け、今から準備しておくことや自分のことをしっかり把握しておくことも大事だと思いました。

△（2年2組／男子）

1, 2年生の時から勉強を続けること、毎日の授業が大切であることなど、基本的なことが大事であると感じました。

△（2年3組／女子）

先輩の話聞いて、「この学校に入りたい」と思う強い意志を持っていることがわかりました。強い意志を持っていることで、勉強を頑張ることができたり、何度もエントリーシートを書き直したりすることもできるのだらうと思いました。